

第33回 東陽地域審議会発言要旨

委 員	事 務 局
審議事項 (1) 新たな機関の設置について	
<p>設置要綱について、なにかモデルのようなものはあったのか、それとも、新しく作られたのか。</p>	<p>地域審議会の設置に関する事項を基に、新たな機関の整理や役割を考えながら素案を作成している。</p>
<p>設置要綱の組織のみに、分科会を設置することができるかと書いてあるが、何か特定の事項があった場合に設置するのか、それとも、最初から設置しておくのか。</p>	<p>分科会の想定として、補足資料にある、その他の付属機関に該当しないものがあれば、「地域づくり会議」において、議論できない課題が出てきた場合、各地域等で議論する場として、分科会を開催できればと考えている。例えば、農業関係の専門分野の課題があった場合、その分野に精通している方に集まっていただき、分科会で議論することを考えているので、現在のところ、設置できる規定を設けている。また、所掌事務の中に「地域づくり会議」でどのようなことを議論するかが記載されている。来年度には、合併から10年経過したので、市町村合併の検証を行いたい。</p>
<p>40歳代以下の若年層の委員について考えてあるが、夜間休日の開催も検討するとあり、女性の立場で考えると夜間休日は子供を預ける事を考えなければならない、そのような時に、託児所など設けてあれば、若年層の方でも参加しやすくなるのではないかと。また、託児所を設けることにより、そこで働ける人たちが出てくるので、検討していただきたい。</p>	<p>子育て世代や未来を担う方々に参加を頂きたいので、若年層の参加を記載しているが、託児関係については、考えて無かったため、来年度の予算措置を行っていない。今頂いたご意見は、新たに委員になる方に小さい子供が居れば、事務局でお手伝いできる場所があれば、ご相談させていただき、出来るだけ参加しやすい環境づくりに努力したい。</p>
<p>委員の構成で、50才以上の方が概ね2名、49歳以下の方が概ね2名、公募1名とあるが、なかなか若い方の選考が難しいと思う、概ねと言う事は、その枠で該当者が少ない場合は、委員の人数に関して、変更があってもいいのか。</p>	<p>委員の基準としての概ねというのは、年齢を指している。選定の状況では、人数の変更があると思う。なるべく幅広い年齢層からご意見を頂きたいと考えているので、この提案をしている。</p>

委 員	事 務 局
審議事項 (2) 過疎地域自立促進計画等について	
<p>過疎地域自立促進計画で東陽でも事業計画がなされている、この計画はいつまで策定し、いつ施行されるのか。また、東陽地区で新たに計画等を提出するとすればいつまでなのか、もう一度教えてほしい。</p>	<p>資料の策定スケジュールに記載しているが、正式には3月議会に提出し議決を頂き、国の方へ計画の提出を行うようになっている。その他、パブリックコメントということで、市民の方にこの計画に対する意見を頂く機会としての期限は、1月25日までとなっている。そして、その意見を踏まえ、計画の修正が必要かについては、関係機関との協議をすることになる。計画に対して、ご意見等あれば、お寄せいただきたいと思う。また、資料の方に各地域で取り組むべきことを、分野別に事業を掲載しているのでご覧いただきたい。</p>
報告事項 (1) コミュニティセンター移行の見直しについて	
<p>今までは説明時に市民活動政策課だけで来ていた、今後は教育部と一緒に来ると言う事だが、これは、各地域から要望があったからか。あるいは、担当課から日程を組んで来ると言う事か。</p>	<p>今まで、コミュニティセンター移行の計画変更についての説明を行ってきた中で、各地域から教育委員会の対応はどうかという意見があり、その対応を行い、今回の地域審議会に教育委員会と一緒に出席をした。</p>
<p>教育委員会の方から、何か補足説明があったらお願いします。</p>	<p>コミュニティセンター移行については、住民自治によるまちづくりの中で、公民館をコミュニティセンターへ移行し、地域の皆様に使いやすい施設にしていくことが計画の趣旨としてあり、教育委員会としても計画にそって進めている。その中で、各地域でいままで行っていた、公民館での活動や社会教育活動がどうなるのかという心配があったと思っている。また、まちづくり行動計画にもあるが、今まで八代市において、校区公民館を中心として、生涯学習活動を推進してきた。コミュニティセンター移行で、それぞれの地域に公民館が無くなるが、今後は、八代市として公民館を位置づけ、そこから市内全域の社会教育活動を推進するように形態を変えることになる。そして、生涯学習課の中に各地域の生涯学習を担当する職員を配置する。これからは、コミュニティセンターを活用し地域に出向き、これまで同様に行ってきた生涯学習活動を推進する。形態が変わることで地域の皆様に、ご迷惑がかからないよう、推進をすることでご理解を頂きたい。</p>
<p>コミュニティセンターに移行することにより、職員が削減されて少なくなるような内容でしたが、もう一度説明をお願いします。</p>	<p>職員については、今まで公民館であったので、教育委員会から公民館主事を配置していた。今後は、所管が市長部局に変わるため市長部局から職員を配置する事になる。職員が少なくなるのではなく、配置換えという形になる。</p>

委 員	事 務 局
報告事項 (2) 八代市ケーブルテレビの指定管理制度導入について	
<p>テレビやインターネット等の修理の依頼や問い合わせは、今度から変わるという事だが、今までは、支所の担当者がすぐ対応に来ていた。今後の対応が心配だがどうなるのか。</p>	<p>今回、指定管理を受ける、テレビやつしろの方から専属のスタッフを各ケーブルテレビセンターに配置される予定。4月の移行時は、市が導入しているシステム等に指定管理者が対応できるまでの間、スムーズに対応できない場合があるかもしれないが、今までどおりのサービスを提供する。</p>
その他	
<p>昨年に国会でも言われたと思うが、三世代が同居すれば、リフォームする際に助成金があると聞いたが、八代市でその内容が詳しく分かれば教えていただきたい。</p>	<p>まち・ひと・しごと創生法という法律が施行され、地方創生ということで聞かれていると思う、これは、地方を活性化する取組が進められている。内容は、様々な施策があり、いま言われたような補助制度等の案がいくつも出ている。今のところ、決まっているものは無いが、市民の皆様に関係するような制度等があれば、担当部署からお知らせがあると思う。その際は、ご利用いただくため情報提供に努めるので、広報紙等ご覧いただきたい。</p>
	<p>先ほど地方創生の話があったので、少しPRをさせていただきたい。八代市でも人口減少社会を捉えて移住定住を促進していくという事で、1月24日(日)やつしろハーモニーホールで、タレントの井上晴美さんとKKTアナウンサーの本橋馨さんに来ていただきトークショーを開催する。移住定住を考える機会になるので、参加いただきたい。もう一点お知らせがあり、今年施行された、マイナンバー制度について、役所関係から報償費等支払う際に、必要になり提出が求められると思う。その他、窓口での手続きの際にも提出が必要になるので、その際は、ご協力をよろしくお願いしたい。また、企画政策課の方では、マイナンバーについての出前講座を行っている。ご利用いただき制度の理解を深めていただきたいので、お申込みをお願いしたい。</p>

委 員	事 務 局
	<p> 前回の第32回審議会の際に、委員からありました、八代市地域婦人会連絡協議会へ市からの補助金がでていますが、そこを脱退した東陽校区婦人会には、補助金が出ないのはおかしいのではないかと。検討していただきたいというご意見の方を頂いた。前回の場では担当課ではなかったので回答できなかったもので、今回報告をする。八代市は、社会教育の振興を図るという目的で、八代市社会教育団体補助金交付要領を定めて、八代市地域婦人会連絡協議会、八代市子ども会連合会、八代市PTA連絡協議会の社会教育団体の3団体に補助金を交付している。八代市地域婦人会連絡協議会に交付された補助金は、その活動事業において、傘下の構成団体の婦人会に支給されているというところである。市の社会教育団体の婦人会に対する支援の基本方針のところ担当課の生涯学習課が一括して協議会の活動支援補助金の交付を行っている。それぞれの校区婦人会の活動については、補助金はないが、公民館主事が校区婦人会の活動支援を行うというのが基本方針と聞いている。現在は、この連絡協議会の構成団体が少なくなり10団体の構成と聞いている。社会教育委員、教育委員の皆様から、脱退された校区婦人会を含めた婦人会への支援の見直しの意見が上がっている。現在のところ、生涯学習課としては、社会教育団体としての婦人会活動をこれからも色々な形で支援、検討していきたいというところまでの考えで、校区婦人会の活動に助成金を検討するという考えまでは至っていないのが現状である。 </p>